

研究課題番号	5-1951
研究課題名	多環芳香族炭化水素類を含む粒子状物質が関与する新しい慢性咳嗽疾患に関する環境疫学的研究
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	金沢大学
研究代表者名	中村 裕之

1. 委員の指摘及び提言概要

特性の異なる4地点の詳細な調査により、PAH類などの大気汚染物質濃度の地域差や季節変動、寄与因子などを明らかにし、大気中PAH成分と咳への影響を、詳細な曝露データから推定し、疫学データにより明らかにした重要な研究である。PM成分の物理化学観測で得られた、発生と輸送の広域的な解析手法は、今後の環境疫学調査にも活用できるものである。

現行の政策を変更・改善する点と研究成果の関係を明確にして説明してほしい。また、今後のデータ解析により、環境基準の設定・変更にも寄与する成果の解析にも期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A